

# 東京社会福祉士会 ニュース



No.238  
August 2017

## 第5回定時総会開催 専門職として職能団体として、 一人ひとりを大切にする実践を

公益社団法人東京社会福祉士会の第5回総会が6月24日、豊島区南大塚地域文化創造館（南大塚ホール）で開催され、平成28年度決算報告及び定款変更・倫理委員会規則改正並びに平成29年度～30年度役員選任にかかる議案が審議のうえ、了承された。総会に先立って催された「リレートーク」では、当会の事業の運営に当たっている6つのセンター（生涯研修センター、調査研究センター、低所得者支援事業センター、事業推進センター、権利擁護センター）とあとなあ東京、地区支援センター）が現況や直面している課題や展望を語った。

総会では冒頭に大輪典子会長が挨拶に立ち、会の運営を活気ある開かれたものとする事、会員数4,000名を目標に拡大を図ること、法人理念や「使命と役割」を具現化するべく専門職として団体として「一人ひとりを大切にする」実践を行い発信していくこと——を重要課題として掲げた。また、成年後見制度利用促進施策が市町村レベルで具体化していくなかで、今こそ社会福祉士が「意思決定支援・身上保護を重視した成年後見制度運用に資する支援体制の構築」において専門性を発揮し、役割を果たすべきだと訴えた。来年2月10日には当会主催の「実践研究大会」を開催するとして、先々の全国大会開催も視野に、活発な演題応募と協力を呼び掛けた。



### Contents

|  |                                 |
|--|---------------------------------|
| 第5回定時総会開催 ..... 1                                | 本人主体の「自立支援」であるために..... 14       |
| 会長挨拶／平成28年度決算案、役員改選等を承認／<br>8つの「重点施策」、会員数4千人を目標に | (自立支援・重度化防止に向けた取組の推進に対する声明)     |
| リレートーク「これからの東京社会福祉士会を考える」... 5                   | 新役員の顔触れ..... 16                 |
| 時代は『ソーシャルワーク』を求めている..... 8                       | 情報ファイル（地区会／センターからの告知）..... 20   |
| ～日本社会福祉士会全国大会から～                                 | 事務局から～ホームページの使い方..... 24        |
| 文京社会福祉士会、発足..... 11                              | 事務局から～公益社団法人化5周年記念寄付金のお祝い... 26 |
| 基礎研修2017、始まる！ ..... 12                           | 事務局から～ロゴマーク入り名刺作れます..... 27     |
|  | SWデー「誰でも安心電話」を開設しました／編集後記... 28 |

# ソーシャルワーカーデー（7/17）に 「誰でも安心電話」を開設しました

当会はソーシャルワーカーデーに当たる7月17日、生活上の困りごとから福祉制度に関する問い合わせなどに対応する無料の電話相談窓口「誰でも安心電話」を開設しました。



時間は午前10時から午後4時までの6時間。電話を4回線用意して、総勢14人の会員が2交代のシフトでスタンバイしました。

電話は10時の受付開始と同時に鳴り出し、都内のみならず、西日本からかけて来られる方もおられました。

内容は、例えば家族の入院医療に関すること、成年後見制度の利用に関することなどでした（詳細は割愛します）。

会員各位が日頃お感じのように、今日における生活問題はかなりの程度、複雑化してきています。縦割りに用意された制度で円満解決というわけには、なかなかいきません。相談支援につながってくる人、イコール、生活問題を抱えた人ではありません。それよりもっと多く、自身の苦悩をどうしたらよいかわからず、孤独のなかで打ちひしがれている人がいると考えるべきでしょう。そこへいかにアウトリーチしていけばよいか。そしてエンパワメントすればよいか。

今回の「誰でも安心電話」はひとつの試みでした。「電話」という形態の強みと弱み、まずは窓口の存在を知ってもらうための運用と周知の在りよう等々、実践知の獲得につながりました。社会福祉士による「公益事業」として、今後につなげてまいりたいと考えます。

（普及啓発イベント主担当理事・勢登裕介）

## 編集後記

▽当会の現職理事の増村喜久子さんが急逝されました。衷心より哀悼の意を表します。  
▽他界される18日前、増村さんは療養中のご自宅から、当会の総会に理事として出席するため、車椅子で南大塚ホールに駆け付けられました。両脇を支えられて壇上に立ち、次のように挨拶を述べられました。「皆さんに甘えることが、こんなに気持ちのいいものだとは。『社会福祉士ってすばらしいよ、甘えるとすごいよ』とセルフネグレクトの人に伝えたい（笑）。それは、病苦を逆手にとった生涯現役のソーシャルアクションでした。  
▽福島で開催された日本社会福祉士会全国大会（8P～）。『コーディネート力とマネジメント力を磨いて』と厚労省、「どこでもソーシャルワークのある社会を目指して、先導して」と一橋大・猪飼教授。それだけ社会福祉士には期待が集まっているということです。暑さに負けず、プレッシャーはバネにして、頑張っぺ！（NHK朝ドラ『ひよっこ』風に）  
（広報推進本部編集長：福島敏之）

発行：公益社団法人 東京社会福祉士会  
発行人：大輪典子  
編集：広報推進本部  
印刷：東京都大田福祉工場

お問合せ先



公益社団法人 **東京社会福祉士会**  
Tokyo Association of Certified Social Workers

〒170-0005  
東京都豊島区南大塚3-43-11 福祉財団ビル5階  
TEL：03-5944-8466  
FAX：03-5944-8467  
mail：cswtokyo@tokyo-csw.org  
HP：http://www.tokyo-csw.org



ホームページが  
ご覧いただけます  
QRコード